

変化への 挑戦

“心の政治”であつたかい市政を

こんにちは、吉本昌純です。私は和歌山市で生まれ育ちました。市職員を24年8か月、市議会議員を4期15年、合わせて約40年間、私の人生の大半は和歌山市政、市民の皆様とともにありました。

この間、「心の政治」を一貫したテーマに、人の痛みがわかる政治家であり続けたいと、常に初心を忘れることなく、自身の立ち位置を確かめながら市民の皆様とお会いし、話し、暮らしに関わる身近な問題や課題と向き合ってきました。その姿勢、取り組み方に恥ずべきことは一切なかったと自負しております。市民本位、市民が主役のまちづくりを目指し、懸命に取り組んでまいりました。

しかし、現市政は残念ながら私が目指してきたものではありません。教育予算は削られる一方、箱もの行政には多額を投入し、借金は過去にない額に膨れ上がっています。また、花山の漏水事故から2年経たずして六十谷・水管橋崩落事故が起こったことについては、市民の命と財産を守ることが第一の使命であるはずの行政トップとして危機意識が乏しいと断じざるを得ません。カジノを含むIR計画は市民の皆様の中にも賛否はあると思いますが、ただその是非を直接市民に問う住民投票に反対したことは市民本位のまちづくりを目指す私の姿勢と大いに異なります。

市民本位の、市民が安心安全に暮らしていけるまちづくりを加速させるためには思い切った変化が必要です。

旧態依然の政治の流れを断ち切らなくてはなりません。しがらみのない私、吉本昌純にはできます。その覚悟と情熱があります。主役の市民が積極的に関わっていただける熱い市政づくり、その「変化への挑戦」を吉本昌純は始めます。

よしもと昌純

まさ ずみ

後援会事務所

〒640-8317 和歌山市北出島1-53-6

Tel 073-488-3217

Fax 073-494-4788

✉ kokoronoseiji@gmail.com



HPはこちら

各SNSで発信しています！



後援会
Facebook



本人
Facebook



後援会
Twitter



本人
Instagram

YouTubeチャンネル

記者会見動画は右QRコードから▶



他事業を
中断してでも

北部地域に浄水場を整備します！

子どもを育むあったかいまち

- 子育てゼロ化
 - ・中学校給食の全校実施と小・中学校給食費ゼロ
 - ・高校生まで医療費ゼロ
 - ・保育料ゼロ
- 小中一貫校の増設
- 虐待・いじめ・不登校等の子どもを守るため関係機関との連携強化、市児童相談所の設置
- 発育の気になる子どもが小学校に入学するまでの丁寧な手立て
- 海山川を生かしたスポーツ・文化の振興
- 感染症対策と対面授業の工夫
- ふるさと教育の充実
- こども食堂の支援（相談窓口の設置＝コーディネーターの配置、フードバンク創設、ボランティアの斡旋と運営の助言）



吉本昌純が目指す
あったかいまち



安全で安心なあったかいまち

- 紀ノ川右岸地域の早急な浄水場整備と老朽水道管の点検と更新
- 路線バスを市内各鉄道駅と結び交通弱者のアクセス向上を図る
- 空き家対策（売買や賃貸、リノベーションの促進と公共的な活用）
- 和歌山城の耐震補強・修理
- 南海トラフ地震への対策
- 都市排水の整備
- 内川を利用した水上バスの検討（ぶらくり丁～和歌浦～マリーナシティ）
- 100歳大学の公設
- 3世代同居・近居の促進・拡充
- NPOやボランティア団体などと協働して進める地域コミュニティの活性化

チャレンジできる、働けるあったかいまち

- 起業・創業支援（空き家等を活用したインキュベーターオフィスの設置、起業・創業サポート課の新設、融資制度の新設など）
- 和歌の浦から加太のベイエリア環境を生かし、リモートワークに特化した“ワーケーション”の候補地として売り込んでいくための環境整備
- 地元企業の応援
- 農福連携による障がい者の雇用推進
- 農・漁業者の生活基盤の安定
- 脱炭素都市を目指し、クリーンエネルギーへの転換・移行に向けて調査。成長産業である再生可能エネルギー関連企業の誘致に積極的に取り組む

無駄を省き市民サービスの向上を図るあったかいまち

- 補助金・交付金のゼロからの見直し
- 公共施設のスリム化
- 企業局（水道・下水道）会計の効率化
- 徹底した無駄の排除
- サービスセンターの多機能化
- マイナンバーカードの加入促進と電子自治体化
- 職員の超過勤務の削減



よしもと昌純 プロフィール

昭和32年1月23日生まれ
和歌山市吉原在住
和歌山市立安原小学校
（吉原分校）
和歌山市立東中学校
和歌山県立向陽高校
近畿大学卒



和歌山市役所24年8ヶ月勤務
平成19年4月 和歌山市議会議員に初当選
家族：妻、長男夫婦、長女夫婦、孫5人
趣味：神社・仏閣めぐり、スポーツ
好きな言葉：一隅を照らす

◇市議会議員として取り組んできたこと◇

- 貴志川線の存続に取り組む。議会でも存続を粘り強く訴え続け、和歌山県、和歌山市、紀の川市から補助金を獲得。以降、現在も運行が続いているが、運営は依然厳しくコロナ禍に伴ってさらに厳しい状態にあり、現在は上下分離方式（運営は電鉄、保線は行政）による運営を提案中！
- 阪和自動車道南インター設置の必要性を議会で提案、地元の意見集約に努める。設置決定後は災害等有事の際の応援部隊受け入れのための拠点として、インター入口に消防活動センターと消防岡崎分署の誘致に取り組んだ。
- 東日本大震災後、自然エネルギー政策の必要性を訴え、森林公園へのメガソーラー誘致を具現化した。
- 内川の水質浄化を提案し、紀の川から環境用水を引いて試験通水を実施、一定の効果を確認した。
- 子ども総合支援センターのさらなる充実を訴え、教育委員会・保健所・福祉等関係機関の縦割りによる弊害として情報の共有が希薄であったため、各セクションの専門家を集約するなど窓口の一本化を提案。相談者がワンストップで相談できるようになった。
- 正しい情報を見極めるためのメディアリテラシー教育の必要性を提言してきた。

●参加、賛同した市民運動

- 平成16年 南海電鉄の貴志川線撤退を受け、存続を求める住民運動に参加。貴志川線の未来を“つくる”会幹事を獲得。以降、現在も運行が続いているが、運営は依然厳しくコロナ禍に伴ってさらに厳しい状態にあり、現在は上下分離方式（運営は電鉄、保線は行政）による運営を提案中！
- 平成21年 ぶらくり丁に計画されたミニポートピア（場外船券売場）の反対運動に賛同
- 平成30年 山口・滝畑地区の産廃最終処分場設置計画の反対運動に賛同
- 令和2年 楠見・平井地区のメガソーラー太陽光発電計画の反対運動に賛同
- 令和4年 わかやまマリーナシティの統合型リゾート・IR設置計画に反対し、本議会で諮られた区域整備計画議案に反対した